

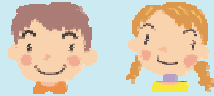
# いま、なぜ、「ことばの教育」か・・・？

## 「ことばの力」は・・・

学習や生活の基盤となる重要な「力」

社会人として必要とされる「力」

現代社会の中で求められる「力」



企業は新規高等学校卒業者に「ことば遣いやマナー」(97, 3%)「コミュニケーション能力」(91, 4%)を求めています。(注1)

- 核家族化・都市化  
→ 家族、地域、世代間の対話
- 国際化・情報化  
→ 情報を理解し、発信する力

## ところで 最近の子どもたち、こんなことはありませんか？

- ・ 話しかけても、単語で返事をしてなかなか会話にならない。
- ・ おしゃべりはよくするが、筋道を立てて話したり、書いたりすることが苦手。
- ・ ストレスを感じていたり、表情が乏しくなっているようだ。

## それから 調査から、こんなこともわかりました・・・

### 日常のコミュニケーション力が心配です。

5歳児の保育者を対象としたアンケート (よくあてはまると回答した割合)

絵本や物語に親しみ、興味をもって聞き様々に想像して楽しむ。 (70, 7%)

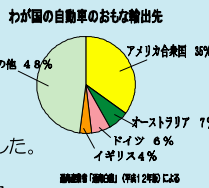
自分の意見を主張するが、相手の意見も受け入れる (46, 7%)

(調査項目中最も少ない割合でした) (注2)

### 情報を理解する力が不足しています。

小学校5年 社会科のテスト

わが国が輸出している自動車の台数は、アメリカをはじめ上位3か国で、全体のおよそ ( ) %をしめている。



- この問に対して、次のような「誤答」がありました。
- ・ 上位4か国の割合を足している。
  - ・ アメリカ合衆国を除く3か国の割合を足している。

(注1) (専門教育に関する企業ニーズ調査報告書 平成15年2月 株式会社リクルートから)  
 (注2) (平成15年度広島県幼児教育調査報告書 平成15年11月から)  
 (注3) (平成13年度小中学校教育課程実施状況調査報告書小学校社会 平成15年6月から)

# 広島県の「ことばの教育」がめざすもの

## 技能の習得

「聞く」「読む」「話す」「書く」技能を習得

- 事実を伝える
- 場面に応じて伝える
- 情報を理解する

- (事実を正確に分かりやすく伝える)
- (場面や目的に応じて適切に伝える)
- (聞いたり、読んだりしたことを確実に理解する)

日常生活に必要な「ことばの力」を定着させる

## 能力の開発

「考える」「感じる」「表す」能力を開発

- 考えを伝える
- 気持ちを伝える
- 豊かなことばで伝える

- (筋道を立てて考え、論理的に表現する)
- (感受性を働かせ、情感を込めて表現する)
- (ことばの豊かさを味わい、自ら豊かに表現する)

学習や社会生活、人生を豊かにする「ことばの力」を育成する

▶ 聞く、読む、話す、書くことを通じて、どのような「技能」や「能力」を身に付けさせたいのか、指導のねらいをはっきりさせることが大切です。また、「技能」の面では、楽しいゲームの工夫や校内技能検定の実施、「能力」の面では、国語科と他の教科とのチーム・ティーチングなど、「ことばの教育」に学校全体として取り組むためのアイデアもいろいろと考えられるのではないのでしょうか。

